



▼山部商店わきに設置された  
地図総合案内掲示板

## 史跡地図看板で地域へ親しみアップ

町2区(宮地)に、史跡の説明が書かれた看板8つと地図総合案内掲示板1つが設置されました。設置は、地域内に点在する史跡が目にとまらず知る人も少なくなったことから、次世代に残すためにも史跡を紹介し親しみを取り戻そうと、町2区地域づくり事業推進委員会(山部公望会長)の皆さんが行ったもので、市の地域づくり助成が利用されました。完成した看板は街並みに合ったデザインで大変好評です。町2区の史跡めぐりは門前町と隣接して、「白衣の天使」の生みの親である佐伯理一郎生誕の碑ほか7ヶ所を楽しむことができます。ぜひ散策してみてください。



▲「白衣の天使」「助産婦制度」の  
生みの親 佐伯理一郎生誕の  
碑(山部商店横)



△南九州コカコーラボトリング(株)等の皆さん

## 環境保全の「森づくり」盛ん



阿蘇市の山林では、企業や団体による水源涵養林の植栽活動が年々盛んに行われています。4月18日は、南九州コカコーラボトリング(株)・(財)阿蘇グリーントック・阿蘇市協賛の「さわやか涵養林阿蘇の里」づくりが開催されました。いこいの村前の市有林につくられたこの森には社員やボランティアの方々が4年にわたり約6,000本の苗木を植えられました。

今後は植育活動で阿蘇の環境を守ります。また、肥後銀行が小倉に52畝もの山林を購入して植栽を進めている「阿蘇大観の森」でも、4月4日、第4回目の植樹が開催され、約700人の社員や家族が休日に阿蘇に足を運び、地元の方々と一緒になって作業に汗を流されています。

## 国内一の面積を焼く阿蘇の野焼き



▲4月12日日の尾牧野での野焼きの様子

今年も2月中旬から4月中旬にかけて阿蘇山麓・外輪山一帯で「野焼き」が行なわれ、多くの牧野組合やボランティアの方々が山での作業に取り組みました。野焼きの面積は国内一の広さに及びます。



▲作業を説明する日の尾  
牧野 中村辰司組合長

そのおかげで草原が芽吹き牛馬の放牧が始まり、阿蘇の見事な景観が大空のもと輝いています。野焼きボランティアを養成している(財)阿蘇グリーントックでは、今年も阿蘇地域48ヶ所の野焼き

に協力。延べ1,078人のボランティアの方々が県内外から参加され、牧野組合の方々を支援しました。

ボランティアの皆さんの声として、「野焼きに人手が足りないということを知り、訪れるたび癒してくれる阿蘇に恩返しがしたいと思った」、「今年は8回野焼きに参加した。自分が作業に加わった山々から緑の草原が広がり嬉しい、一年中景観を楽しんでいる」、「私は地元の者です。遠くからこんなに大勢の方が野焼きに加勢しておられるので、地元住人も動かないと!と思い参加しました。」などいただきました。